

文学研究部

文法講座'09～設定編～

はじめに

ここで紹介する設定を事前に行ったテンプレートをWEB上で配布しています。このテンプレートをWordで開くだけで、なんの設定もすることなく、そのまま原稿に取り掛かることができるので、読むのが面倒な人はぜひ使ってみてください。

テンプレート配布 URL :

<http://www3.hino.meisei-u.ac.jp/bunken/template.html>

推奨環境

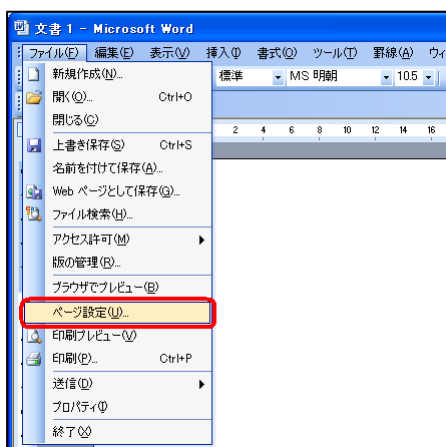
OS : Microsoft Windows XP

ワープロソフト : Microsoft Word

Word の設定方法 (B5 の場合)

☆ ページ設定

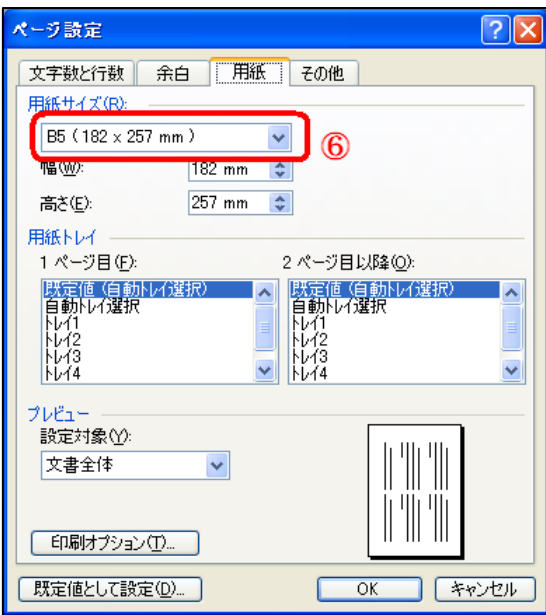
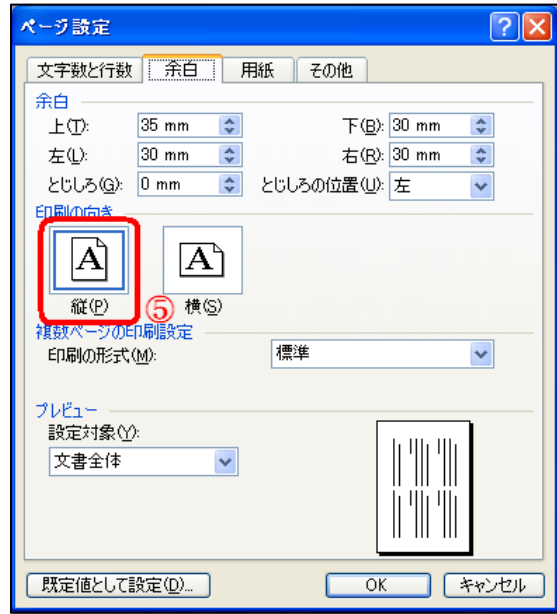
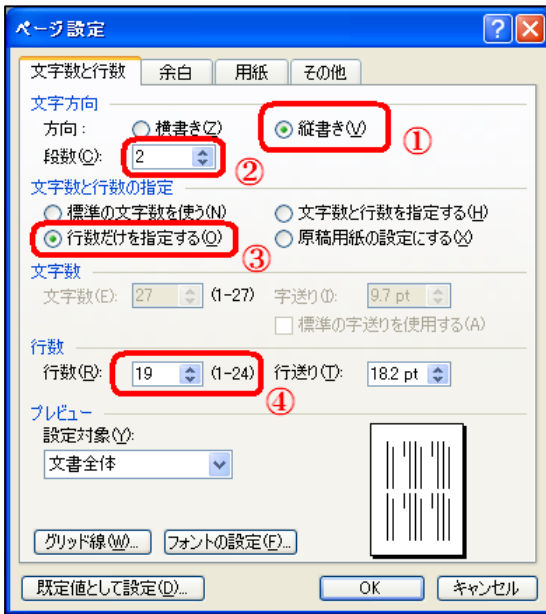
用紙サイズ、向き、余白、などの基本設定を行います。



メニューの「ファイル(F)」→「ページ設定(U)...」からページ設定画面を呼び出すことができます。

ここで必要な設定は次の六つです。

- ① 文字方向
- ② 段数
- ③ 文字数と行数の指定
- ④ 行数
- ⑤ 印刷の向き
- ⑥ 用紙サイズ



これを図と同じように設定します。

- ① 「横書き」
- ② 「2」
- ③ 「行数だけ指定する」
- ④ 「19」
- ⑤ 「縦」
- ⑥ 「B5 (182 x 257mm)」

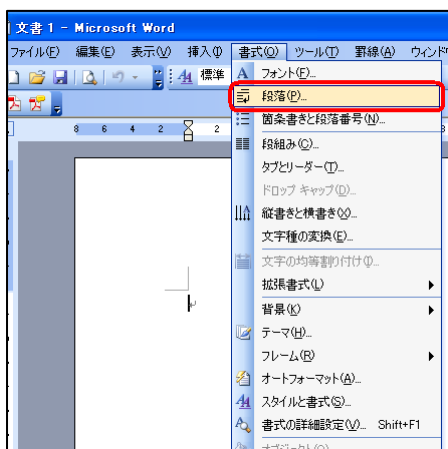
また、余白が初期設定どおりであることも確認しておきます。

上 : 35mm、下 : 30mm
 左 : 30mm、右 : 30mm

(☆ 字下げと行間隔に続く→)

☆ 字下げと行間固定

行はじめに必要な一字下げの自動化と、ルビをきれいにつけるための行間固定を行います。



メニューの「書式(O)」→「段落(P)...」から各設定を行うことができます。

ここで必要な設定は次の二つです。

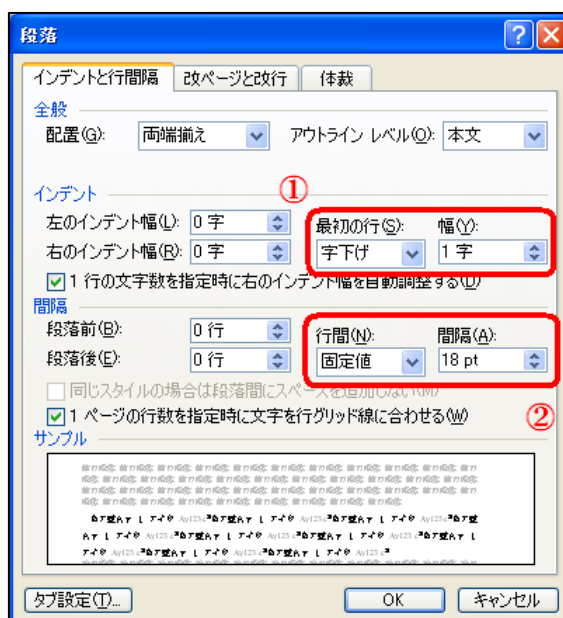
- ① インデント
- ② 間隔

インデントでは「最初の行」と「幅」、間隔では「行間」と「間隔」の設定を変更します。

これを右図と同じように設定します。

- ① 「字下げ」「1字」
- ② 「固定値」「18pt」

字下げ設定は必須ではありませんが、行間固定はルビを振った際に行間が乱れないために必要なので、必ず設定するようにしてください。



Word の小技集

☆ ルビの振り方

ルビを振りたい部分を選択した状態で、メニューの「書式(O)」→「拡張書式(L)」→「ルビ(U)...」を選ぶと、任意の文字をルビとして振ることができます。

☆ 縦書きで「!!」を表示する

まずは通常通り、半角の「!」を二つ並べて「!!」と入力します。

これを選択した状態で、メニューの「書式(O)」→「拡張書式(L)」→「縦中横(T)...」を選び「OK」を押すと、「!!」が縦書きで表示されます。

「!？」や「!!!」、半角の算用数字なども同じ方法で縦書きにできます。

Vista Word の保存設定

Vista のことは正直よくわからないので、細かい設定方法は説明できません……。

ここでは標準の保存形式を、Vista Word の「.docx」から XP 対応の「.doc」に変更する方法を紹介します。保存の際、いちいち保存形式を変更する手間が省けます。

(ネットから拾ってきた画像なので統一感がないです。すいません……)



まず Word のアイコンからメニューを表示させ、その中にある「Word のオプション(O)」を選択します。

表示された「Word のオプション」画面の左側にある「保存」を選択します。

切り替わった画面の中にある「標準のファイル保存形式(F)」から「Word 97-2003 文書 (*.doc)」を選択し、「OK」を押してください。

